

親子そば打ち教室開催



3月19日、西木公民館では親子がふれあいながら、郷土の素材を利用したそば打ち体験教室を桧木内地区館を会場に開催しました。

西木そば研究会の鈴木久巳男さんを講師に、おじいちゃんやお母さん、友達といっしょににぎやかに、こねて、伸ばして、切って、どの組も上手に出来上がりました。打ち上がったそばは、おみやげに持ち帰りました。

お味はいかが？

3月16日、西木温泉クリオンを会場に「男の料理教室」が開催されました。料理長から指導をいただき、「アジのたたき」と「鰯のつみれ鍋」を作りました。

魚をおろすのは初めての参加者が殆どでしたが、思っていたより上手に出来たようで、包丁を扱う参加者の表情は、真剣さの中に笑顔が入りまじり、照れながら身につけたエプロンも、いつの間にか馴染んでいました。

調理後の試食会では皆が、「明日はアジを買いに行こう」、「次は、どんな魚を捌こうかな？」と、料理の楽しさを感じてもらえたようでした。



生態系を守れ！

ストップ・ザ・ブラックバス



男さんの撮影したDVDを教材に、町内の動植物について学習し、午後から産卵床制作を行いました。

この産卵床は地域の人達の協力をへて4月下旬に大沼に設置し、6月下旬頃まで駆除活動を行う予定です。

なお、秋田県内ではブラックバスの再放流、移動は禁止されていますので、皆様のご協力をお願い致します。

在来の小魚やエビ類、水性昆虫を食べ、従来の生態系に大きな影響を与えているブラックバスを、卵や孵化間もないうちに駆除してしまおうと、「ブラックバス産卵床」の制作が3月19日に就業改善センターで行われました。

これは、生態系を守ろうと活動している市内の「トンギョの会」と「田沢湖生物研究会」の合同で開催したものです。

午前中は旧田沢湖町の自然調査員を努めていた生保内在住で、画家の三村治

